



《将来に向けた取組方針》

TOTOグループは、環境問題を“事業を通じて解決する課題”として位置づけ、持続可能な社会づくりに貢献することを目的に、「地球環境方針」を定めています。

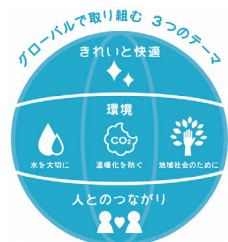
この方針に沿った事業活動を行うことにより、生物多様性の保全と持続可能な利用を進めるとともに、絶滅危惧種に悪影響を与えることのないよう努めています。

〈社会に向けたメッセージ〉

【TOTOグローバル環境ビジョン】

2018年4月に中期経営計画「TOTO WILL2022」とともに、その推進エンジンとなる「TOTOグローバル環境ビジョン」を見直しました。このビジョンの推進を強化することで、経営とCSRのさらなる一体化を図り、企業価値向上を目指しています。このビジョンで設定したテーマである“きれいとか快適”“環境”“人とのつながり”では、目指す姿のもと、取り組み内容とその指標を定め、2022年度までの目標へ向けて推進しています。

また、この3つのテーマを中心に、国連の持続可能な開発目標（SDGs）についても貢献していきます。



TOTOグローバル環境ビジョン



国連「持続可能な開発目標（SDGs）」

〈具体的取組み事例〉

【水環境の保全～ TOTO水環境基金】

水まわり商品を提供する企業として、河川や海などの水環境の保全に向けた活動を続けています。2005年に設立した「TOTO水環境基金」を通じて水源や水質、生物多様性の保全などに取り組む各種団体を助成するほか、これら団体や地域の方々が実施する活動に社員もボランティアとして参加しています。



【生物多様性に配慮した調達】

「持続可能な原料調達基準」を制定し、主力商品の原材料である土石原料および、木質材料の調達を配慮すべき重要項目と定義しています。土石原料では、すべての鉱山を対象にアンケートやヒアリングを実施し、すべての鉱山において基準を達成していることを確認しています。また、木質材料では、商品における合法木材・再生材の使用率が100%となっています。

